

令和元年度 姉妹校等留学プログラム

●学校・団体名/研修名（派遣高校生数）

横浜フランクフルト友好委員会/第5回横浜高校生応援フランクフルト研修事業（2名）

●渡航先

国/都市：ドイツ /フランクフルト市
外国の高校：リート高校

●渡航期間

2020年3月10日～2019年3月16日

K・Tさん

僕にとって、これが初めてのヨーロッパ訪問になりましたが、フランクフルトを訪れて本当に良かったと思います。街はいくら歩いても飽きず、歴史ある建物や現代的なユニークなビルなど、様々な景色を見ることができました。街にはたくさんの人種の人々が暮らしていましたが、本当に温かい人ばかりで、多種多様な文化を受け入れ、現代に昇華しているからこそ、フランクフルトという街があるのだと思います。

滞在は1週間でしたが、まだまだ巡りたいところがたくさんあり、また今回の訪問でもっとこの街への興味が湧きました。ドイツの他の地域にももちろん訪ねてみたいのですが、まだ気づけていないフランクフルトがもっと見つけられそうな気がします。

もう一度訪れるときは、ドイツ語をしっかりと学んで、現地の人ともっとたくさん繋がれたらいいなと思います！

学校の友達ーホストの通っているリート高校と一緒に登校しました。放課後は、一緒に買い物したり、おしゃべりしたり、日本と同じような生活がありました。

食べ物ードイツと言えばソーセージ、ということで僕もいくつか食べました。本当に種類が多くてまだまだ気になるものがたくさん！街にはこのような形でソーセージを提供してくれるお店が沢山あります。

フランクフルト市庁舎訪問ーフランクフルトの市庁舎を訪問させていただきました。普段なら入れない市庁舎の中を案内してもらったりと、とても貴重な体験になりました。

橋の上から見る夜景もとても美しいです。まだまだたくさんの魅力がフランクフルトにはあります。またこの景色を観に、フランクフルトを訪れたいです。次は、街のもっと隅々まで歩いて行きたいです。

T・Kさん

・家族

ホストファミリーはパパとママと15歳の女の子でした。ハンガリー人の家族だったので家の中ではドイツ語とハンガリー語という環境で、ホストシスターは英語がペラペラで他にもフランス語、イタリア語、日本語を勉強しています。ホストシスターとの会話は基本英語だったけれど、私は日本語を、彼女はドイツ語とハンガリー語を教え合っていました。私がパパやママにドイツ語とハンガリー語を真似して言うと、喜んでくれたことがすごくうれしかったです。ハンガリー人はおもてなしの精神が強いと最初にホストシスターに説明されました。それは本当でパパとママは私にたくさんのドイツとハンガリーの料理やお菓子を食べさせてくれました。ホストファミリーとお互いの国のことなどを夜におしゃべりしたことがとても楽しかったし、居心地がよかったです。

・生活

一週間という短い時間だったけれど、沢山のことをしました。一日は横浜市のフランクフルト事務所、フランクフルト市庁舎、日本領事館を訪問し、二日間はリード高校に行き一緒に授業を受けました。放課後は友達とごはんを食べたり、タピオカを飲んだり、スケートもしました。他にもフランクフルトの街を回ったり、フランクフルト近くのお城と観光地にも行きました。

・フランクフルトの街

ドイツは建築規制で高い建物は建てられないけれど、フランクフルトは金融の街なので唯一その規制が許されているそうです。だから、フランクフルトの中心地はドイツの伝統的な家の造りと高いビルが混ざっていて新鮮でした。また、中心地でも緑が多かったです。交通の便もよく地下鉄と路面電車を使って出かけました。フランクフルトは多国籍の街だったから街を歩いているだけでも、アジア人の自分がそんなに浮いているとは感じませんでした。実際に学校のクラスメートもインド人、モロッコ人、トルコ人がいました。

・感想

私は今までに韓国とアメリカとタイのホームステイと一年のタイ留学という経験がありますが、はじめてのヨーロッパである今回は全てが新鮮に感じました。街の造り、学校、文化、考え方。都会と伝統と自然が融合している部分や、多国籍の部分からとても居心地の良い街だと感じました。みんな自分をしっかりと持っていて、特にホストシスターは私に彼女の趣味や何かに対する自分の意見、フランクフルトの街のことを細かく話してくれたことに刺激を受けました。私は海外の生活をして自分や日本のことについて知っていたつもりだったけど、理解しているのはうわべだけで語れるほど知らないことに気が付きました。また、家族内で社会問題を真剣に議論していたことにも驚きました。

公式訪問先でのそれぞれの仕事の内容を聞いて自分の将来に対する考え方が広がりよい経験となりました。人も街もとても魅力的なフランクフルトの滞在は一週間では足りないと感じたし、今回はコロナウイルスが大流行している中行ったため不安な気持ちもあり、行けない場所もあったりしたためまた落ち着いたら長期滞在でフランクフルトに行きたいです。